

「ジャンポール・ゴルチエ」のインポート事業展開について

株式会社オンワード樫山（東京都中央区 代表取締役社長 上村 茂）は、フランスのジャンポール・ゴルチエ社と、日本におけるライセンス契約を2006年12月末日で終了し、2007年春夏コレクションから日本における新たな輸入・販売契約にもとづいたインポート商品によるブランド展開を行うことで合意しました。

パリコレクションで常にトップを走り続けるファッションデザイナー「ジャンポール・ゴルチエ (Jean Paul Gaultier)」の日本におけるライセンス事業は、1981年から当社とジャンポール・ゴルチエ社との強いパートナーシップのもとで展開され、以来25年間、日本でも多くのファンに支持されてきました。ジャンポール・ゴルチエ社は、1999年にエルメスインターナショナルが資本参加したのを機に、“クリエイター”という側面を強く残しながら、高所得者に向けた、より高級なラグジュアリーブランドに進化させる新たな世界戦略を推進しています。その拡大策の一つとして新たなショップコンセプトを作り、2002年からニューヨーク、パリなど世界の主要都市で直営路面店の展開をスタート。2005年にはラスベガス、モスクワ、香港、北京、ドバイを含め25店舗がオープンしており、2008年度中には40店舗を計画しています。同ショップの日本での展開は、当社とジャンポール・ゴルチエ社の共同事業として2004年9月に東京・丸の内内にオープンしております。

この度の日本におけるインポート事業の強化は、ジャンポール・ゴルチエ社が進める世界戦略の一環として行われるものであり、今後、同社が進めるアジア地域でのさらなるブランド事業拡大に繋がる重要な取り組みとなります。当社はジャンポール・ゴルチエ社との新たなパートナーシップのもとで、2007年春夏コレクションより、ブレタポルテ（高級既製服）とアクセサリーの輸入・販売を行い、直営店をはじめ都市型百貨店のインショップや有力セレクトショップなど厳選された販売チャンネルを通じて展開していきます。

尚、ジャンポール・ゴルチエは、米国女性歌手マドンナの2006年ワールドツアーの衣装デザインを担当。さらに10月にはゴルチエ氏の30周年記念祝典がパリで予定されるなど、世界を舞台に活躍するトップファッションクリエイターとしてさらなる活躍が期待されています。

[▲ページTOPへ](#)